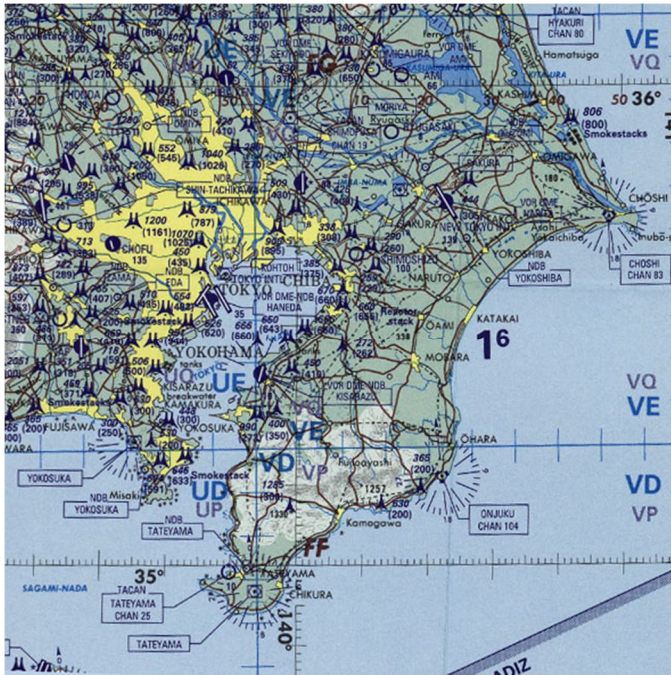


「3年・方位の探究(4)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

実際に方位磁針が指し示す北磁極の方向と、真北とのズレ(角度)を「偏角」と呼ぶ。西に寄っている場合を西偏、東の場合を東偏という。日本列島付近は、西偏 $3^{\circ} \sim 10^{\circ}$ で、北磁極に近い北ほど、偏角が大きい傾向にある。

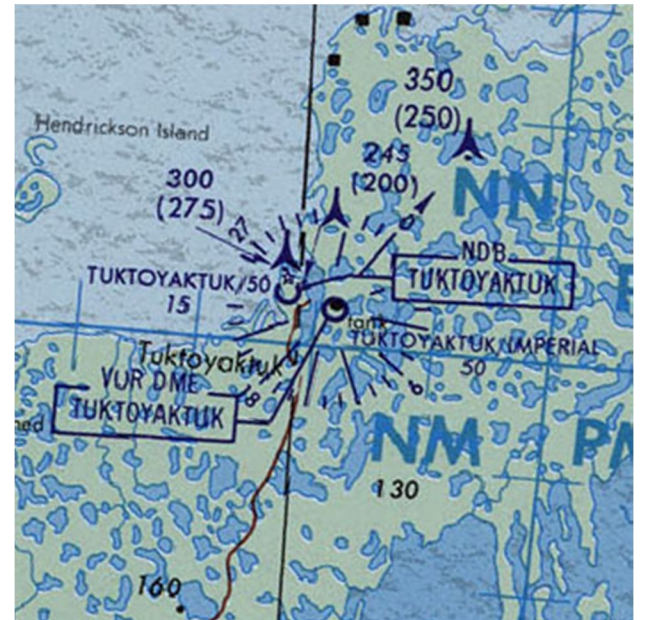


偏角が極めて重要なのが、航空機の運航である。従って、航空地図には、空港や航空電波施設ごとに、正確な偏角が記入されている。上は、関東地方の航空地図である。空港の位置、滑走路の方位、最低飛行高度、飛行禁止区域などが詳しく記入されていて美しい。

左下は、宮古島付近の航空地図である。(当方はほぼ全世界の図副を所有) 偏角は西に 3° 程度で、コンパスはほぼ真北を指すとわかる。



こちらは、稚内空港付近。偏角が西に大きくずれて、約 10° となっている。コンパスの北を信じていたら、別の国に行ってしまうだろう。



更に驚くのが、カナダ北部のトゥクト・ヤクトゥク空港付近。何と、東に 39° もずれている。北磁極に非常に近いからである。・・・どうも、子どもではなく、教師自身の探究になってしまった。いや、このあと、子どもたちの方位の探究を紹介したいと思う。